



防炎品ラベル

防炎品のラベルは、ある一定以上の防炎基準を満たし、防炎品の登録を受けた製品に貼られています。

防炎品は一般のものと比べ、著しく炎の燃焼を抑えることが出来ます。

現在では、カーテン、ブラインド、じゅうたんのほか、布団や毛布、衣類などさまざまな防炎品が販売されています。

本来なら燃えやすいとされるものを防炎品にすることで、大きな防火効果が期待できます。

大切な生命や財産を火災から守るため、防炎品を使用しましょう。

防炎品を
知っていますか？

防炎品と普通品はどれくらい違うの？



2枚の写真は防炎品と普通品へ同時に着火し、延焼を比較したものです。



定期的な除雪が大切です

冬期間は灯油タンクやガスボンベに
特にご注意ください！

屋外に設置している灯油タンクやプロパンガスボンベが、積雪や落雪により破損し、灯油やガスが漏れる事故が発生しています。

定期的な点検やこまめな除雪を行うなど、適切な管理をお願いします。

また、屋内でガス臭を感じた場合は、絶対に火を使用せず、窓を開け十分に換気しましょう。

換気扇や照明、家電のスイッチは火花を発生させる可能性がありますので、ガス会社と連絡し安全が確認できるまでは使用を控えましょう。

●紙面に対するお問い合わせ先●

留萌消防組合
留萌消防署予防課予防係
電話 42-2211
FAX 43-5150

BFC

少年消防クラブ員と
指導員を募集しています。

BFCはBoys and Girls Fire Clubの略です



秋の火災予防運動 10月15日～10月31日

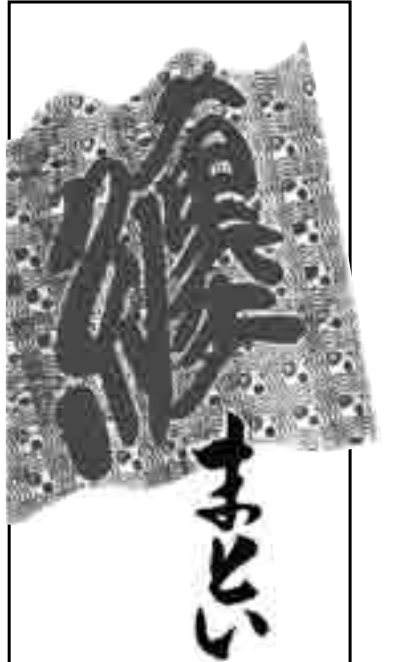
《全国統一標語》

『消すまでは 出ない
行かない 離れない』

《留萌消防組合テーマ》

『火災から生命を守ろう』

午後8時 サイレン吹鳴



第51号

秋の火災予防運動
を実施します

10月15日(月)から31日(水)まで『消すまでは 出ない 行かない 離れない』を統一標語に秋の火災予防運動を実施します。

これからの季節、暖房機器などを使用する機会が増え、毎年、全国で多くの火災が発生しています。今一度、身の周りの火の元の確認をお願いします。

留萌消防組合では運動期間中、火災防ぎょ訓練、住宅防火展、街頭啓発など各種行事を通じて、火災予防を啓発していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

行事名	日程と場所
火災防ぎょ訓練	10月15日(月) 北海道留萌高等学校
住宅防火展	10月15日(月)～31日(水) 留萌市保健福祉センター はーとふる
街頭啓発	10月15日(月) マックスバリュ留萌店前

点検しよう！
住宅用火災警報器

住宅用火災警報器の点検や手入れをしていますか？

一般的に電池の寿命は10年とされています。しかし、使用状況などにより、それより短くなる可能性があります。

住宅用火災警報器には、電池が切れそうになった時や異常の時に、音や光で知らせてくれる機能があります。定期的に点検ボタンを押すなどして作動確認を行いましょう。

また、住宅用火災警報器にホコリなどが入ると、誤作動が起きたり、火災時に正常に作動しない場合があります。いざという時に正常に作動し、いち早く火災を発見するために、定期的な点検と手入れを心掛けましょう。

住宅用火災警報器の 奏功事例

木造2階建て住宅の1階より出火、2階で就寝中の長女が住宅用火災警報器の警報音に気づき目を覚ましたところ、煙と熱気で階段からの避難が出来ず、2階窓から飛び降り、屋外に避難しました。1階で就寝していた世帯主も煙と炎で目を覚まし、1階窓から屋外へと避難しました。